

今年度の教育活動を振り返って

校長 清弘 直行

厳しい寒さの中にも、少しずつ柔らかな春の気配が感じられる季節となりました。先日の卒業証書授与式におきましては、立派に成長した卒業生たちを無事に社会へと送り出すことができました。卒業生の皆さんが、本校で培った力を糧とし、新たなステージで自分らしく活躍されることを心より祈念しております。

さて、今年度の教育活動の歩みを振り返りますと、生徒たちのたくましい成長と笑顔を数多く実感できた一年でした。日々の学習や学校行事を通じ、仲間と協働して共に壁を乗り越えようとする頼もしい姿が数多く見られました。

7月に上磯高校と合同で開催した「清溪祭」では、保護者や地域の皆様の温かいご声援を受け、生徒たちは活き活きと躍動し、大きな自信を得ることができました。また、本校の教育の柱である「職場実習」におきましても、各ご家庭や受け入れ先企業の皆様の多大なるご支援により、充実した学びの場となりました。緊張や失敗を経験しながらも、それを乗り越えて一回り大きく成長していく生徒たちの姿は、私たち教職員にとっても大きな喜びです。

この「失敗から学ぶ」という本校のコンセプトを見事に体現してくれたのが、先日3年生が後輩に向けて行った「進路報告会」でした。全校生徒や保護者の皆様に前にすれば、どうしても自身の「成果」を誇りたくなるものです。しかし、「自身の失敗と、それをどう改善して社会へ旅立つか」を正直かつ懸命に語り切った先輩たちの言葉に、校長としても深く感動いたしました。その姿は、後輩たちにとって大きな憧れと目標になったことでしょう。

さらに、今年度も各種検定への挑戦や、部活動・文化活動における生徒の顕著な活躍が見られました。日々の継続的な練習の成果が結実し、ビルクリーニング技能検定や社会福祉・介護福祉検定、日本漢字能力検定、情報処理検定などで合格を勝ち取る生徒が増加しています。大会等の成績におきましても、アビリンピックの清掃部門での金賞をはじめ、テニスボール・バスケットボール部の全道大会準優勝、道南カップスポーツ交流大会におけるバドミントン部の準優勝、文化部が第8回オリT甲子園で入選・佳作に選出されるなど、輝かしい結果を残しました。加えて、美術科で制作した絵画が「はこだて・冬・アート展」で奨励賞に入賞し、国語科で作成した作文が北海道特別支援学校児童生徒生活体験発表会で優秀賞を受賞するなど、一人ひとりが持てる力を存分に発揮してくれました。目標に向かってひたむきに努力する姿勢は、道南地域で活躍する人材を目指す本校の誇りです。

本年度も、こうして無事に修了の日を迎えることができますのは、保護者や地域の皆様の温かいご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。新年度におきましても、本校が全道に誇る「仲間やチームを大切にする」という温かい雰囲気をしっかり引き継ぎながら、教職員一同、力を合わせて生徒たちの社会自立に向けた教育活動を推進してまいります。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

WTW(ワークトレーニングウィーク)2期

WTWとは、5日間通して1～6時間目まで働き、長時間の仕事に対応できる体力や集中力などを育成する実習です。

環境・流通サポート科1年生

実習室や格技場、教室の清掃では初めての床ワックス掛けを行いました。今回は3年生が参加してくれて、丁寧に手順やコツを指導してくれました。1年生も真剣に作業と向き合い、どちらにとっても有意義なWTWとなりました。



福祉サービス科1年生

校内カフェのオープンに向けての準備を行い、接客や礼法について学び、最終日には北斗・上磯高校の先生方をお客様としてお迎えし、カフェ運営を行いました。



～祝 全道準優勝！！～

2月11日(水)大和ハウスプレミストドームで開催された「第31回『赤い羽根』ティーボール北の甲子園記念大会 北海道知事 Cup」に本校ティーボール・バスケットボール部が昨年に続き準優勝しました。この一年間チーム一丸となり練習に取り組んできた成果が発揮されました。今後も「愛されるチーム、応援されるチーム」を目標に、引き続き優勝を目指して頑張っていきます！大会出場にあたり、応援して頂いた皆様に深く感謝申し上げます。



第7回 卒業式

3月14日(土)、第7回卒業式を挙行し、7期生11名がそれぞれの決意を胸に巣立ちました。3年前の入学当初とは違い、自信と希望に満ちた表情で登壇し、卒業証書授与、スピーチ、式歌斉唱など感動的で思い出に残る式となりました。7期生の皆さん、ここからが新たな人生の「スタート」です。それぞれの場所で「自分らしく」頑張ってください。



離任者挨拶

この紙面をお借りいたしましてお礼とお別れの挨拶とさせていただきます。

教頭 鈴木 雄也 (北海道中札内高等養護学校へ)

2年間北斗高等支援学校で過ごし、素晴らしい挨拶をはじめとする「北斗スタンダード」を実践するみなさんを見てきて、どこに対しても自慢できる生徒さんたちだといつも思っていました。ぜひ、「北斗スタンダード」をずっと受け継いでいってください。保護者及び関係機関の皆様、2年間お世話になりました。北斗での思い出を大切に、次の学校でも元気に頑張っていきたいと思えます。ありがとうございました。

教諭 釘田 芳紀 (北海道函館高等支援学校へ)

何度でも立ち上がる勁草のごとく、諦めることなく前へ…そんな生徒たちと過ごした9年間は、充実した日々でした。生徒と共に私自身もこの学校で成長させていただいたと感じています。実習や部活動など、地域の皆様・保護者の皆様には、いつも温かいご支援・ご声援をいただいたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

教諭 小倉 健太 (北海道七飯養護学校へ)

8年間、大変お世話になりました。少し寂しさとやりきった気持ちと色々な思いがあり本当に転勤するのかなど不思議な気持ちです。何事も全力でやると楽しいそんな学校でした。「次は君だ!!」これからの北斗を皆さんに託します。楽しい日々をありがとうございました。

教諭 加藤 春彦 (渡島教育局へ)

8年間という長い期間をこの学校で過ごしました。それぞれの進路に向けて、課題と直面しながらも直向きに努力する生徒達をたくさん見ることができました。近くで一緒に学び、応援できたことは自分の人生の中で最も素敵な経験となりました。保護者及び地域の皆様、今までありがとうございました。

指導実習助手 佐藤 優子 (北海道函館高等支援学校へ)

開校から、北斗スタンダードを基本に就職を目標に成長する生徒と共に笑い合い、悩みながらも、たくさん学ぶことができました。これも保護者及び地域の皆様のご協力があったからこそです。この忘れられない唯一無二の思い出を糧に新しい環境へ向かいます。どうぞ、今後も北斗高等支援学校をよろしく願います。長い間お世話になりました。

<お知らせ>

次回は4月の発行となります。北海道北斗高等支援学校の学習の様子、学校生活の様子などをお伝えします。

<ホームページもどうぞ御覧ください。>



<http://www.hokuto-koushi.hokkaido-c.ed.jp>

※公式 note 開設しました。ホームページからログイン出来ます。日常の出来事、イベントなどの情報を発信いたしますので、ぜひ御覧ください。

北海道北斗高等支援学校に関することや特別支援教育に関するお問い合わせは、下記連絡先までお気軽に御連絡ください。

<連絡先>

北海道北斗高等支援学校 (上磯高等学校 併設)

北斗市中野通3丁目6番1号

TEL:0138-74-3431

FAX:0138-74-3435